

教員採用選考テストにおけるボランティア加点の状況について

制度の目的・意義

- ◆ 経済的に恵まれないこどもたちの学習支援をする場への学生等の参加促進
- ◆ ボランティアとして実践的な経験を積んだ学生等を教員として採用

制度の概要

加点要件	教員採用選考テストに応募する前年度及び前々年度の2年間に30回以上の活動実績
加点内容	(1次試験) 総合得点に <u>20点の加点</u> (900点満点)
適用時期	令和元年度実施の教員採用選考テストから試行実施 (ボランティアの活動認定は平成30年4月から)

令和3年度大阪市教員採用選考テスト

- ◆ 志願者 3,642名 うち、ボランティア加点申請者 103名
(昨年実績) 3,246名 うちボランティア加点申請者 100名 (合格者 37名)
⇒ 申請者としては順調に確保、来年度に向け引き続き対象事業の拡大など検討を行う

加点対象事業 71事業登録 (昨年度 65事業から拡大 ※7月末時点比較)

各学校で実施している ボランティア活動	学びサポーター、理科補助員、特別支援教育サポーター、児童いきいき放課後活動、 学校支援学生ボランティア、高等学校介助補助員 など 8事業 (昨年度 7事業)
区役所が実施している ボランティア活動	発達障がいサポーター、放課後の自主学習支援、日本語の指導が必要な児童生徒への支援事業、 子どもの学び応援事業、学校支援ボランティア人材バンク事業など 39事業
民間団体が実施している ボランティア活動	こども食堂での学習支援活動、放課後の宿題支援、障がいのある子の水泳教室、プログラミング教室、 絵本の読み聞かせボランティア など 24事業 (昨年度実績 19事業)